

平成24年3月27日
総務局

東京都防災会議地震部会（第6回）の開催結果について

標記会議の結果について、下記のとおりお知らせします。

記

1 日 時

平成24年3月26日（月）午前9時30分から午前11時50分まで

2 場 所

東京都庁第一本庁舎北塔33階 特別会議室N1

3 開催結果

被害想定結果等について、専門委員による討議を行いました。（別紙参照）

問い合わせ先
総務局総合防災部防災管理課
電話 03-5388-2537

東京都防災会議地震部会（第6回）における討議の骨子

<被害想定結果等について>

- 道路について、橋梁・橋脚などの構造的な被害と、構造的な被害がなくても機能的に支障が生じる場合があることを分けて記載する必要があるのではないかな。
- 帰宅困難者も、延焼被害の状況によっては、広域避難者となる。また、帰宅困難者については、一斉帰宅の抑制が徹底されることで対策が必要な人数が変わると考えられる。
- 火災について、震度が大きくなると出火率は高く、初期消火率は小さくなる。震度が大きい地域で火災被害を小さくするには、地域住民が初期消火をどこまでできるかにかかっている。
- 国は、南関東でマグニチュード7程度の地震が、今後30年以内に発生する確率を70%と公表しているが、どのような地震が想定されているのかを丁寧に説明する必要がある。
- 今後も引き続き検討が必要となる項目については、記載しておく必要があるのではないかな。